

美術科調査の観点（開隆堂・9）

目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかり	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じて題材内容を系統的に構築するとともに、授業の目標、内容や方法、培いたい資質や能力が具体的に示され、教科の目標を達成することができる。 ・1学年は基礎的技法や知識を学ぶことができる題材、2、3学年は応用的な技法や知識を学ぶことができる題材と、系統的に内容が構成されている。 ・造形作品や造形活動を通して我が国の文化や郷土のよさ、アジアを含む諸外国の文化などを伝えるとともに、我が国との繋がりなどにも触れている。
特色 内容	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作手順や技法を写真や図版で示すとともに、基礎的な技法や知識が「囲み」や「掲示板形式の表示」「マーク」で示されて分かりやすくなっている。巻末資料で用具や材料の扱い方、色彩に関する資料などを掲載している。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の言葉、生徒や作家の制作過程や作品解説の図版入り掲載等、表現を支える情報を示し、発想や構想の場面で思考力や判断力、表現力が身に付く工夫をしている。 <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の目標と内容」や自己評価のための「ふりかえり」の掲載、豊富な資料との関連をマークで示すなど、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫している。 <p>〈対象を見つめ感じ取る力や想像力を高める工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現題材全般をとおして、発想・構想のヒントとなる考え方が具体的に示されている。 ・目的や必要に応じた写真や図版によって、表現の特徴をよく捉えることができ、感じ取る力や想像力を高められるよう工夫されている。 <p>〈創意工夫し美しく表現する技能を高める工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作過程の写真や図、材料・用具の扱い方などが、生徒の視点に立って説明され、図解を読み取り易くするために、学年に応じた図が系統的に配置されている。また、吹き出し等や写真資料が掲載され、生徒が創意工夫して表現活動ができるよう工夫している。 <p>〈よさや美しさなどを味わわせる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大判の図版や「原寸」での作品掲載等、作品の細部まで鑑賞できるページや、鑑賞活動のきっかけとなる問いかけがあり、生徒の鑑賞の能力を高める工夫がある。平面や立体を問わず、歴史的なものから現代まで幅広く作品を取り上げている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「原寸ギャラリー」として、本物に近い形で観て感じる資料を掲載している。 ・巻末に「色彩理論」や「表現技法」「年表」「鑑賞」等を資料として掲載している。 ・題材の表現や制作意図を「作者の言葉」として掲載している。発想を促すためのヒントや題材の中で使われる技法、制作過程を写真や言葉、吹き出しで示している。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名の下に「ねらい」を掲載し、学習の「振り返り」を観点別に示している。 ・基礎的な技法、習得させたい知識や情報を囲み記事で示している。 ・鑑賞のきっかけとなる問いかけや安全注意に関する内容を色分表示している。 ・題材に関連した資料のページを下段に、マークとともに表示している。色彩が優しい。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は2冊の編集で、美術1と美術2・3（2、3年生用）となっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に沿った、系統的な題材で構成している。また、実際の授業を想定し、表現と鑑賞を明確に区分せず、題材の中で表現と鑑賞を関連させて働かせる構成としている。 ・生徒の内面に重点を置き、学習のねらいを設定するとともに生徒作品には作者の言葉を添えている。全題材に、小学校と共通の「学習の振り返り」を掲載している。
--	--

美術科調査の観点（光村・38）

項目		観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校教育指導要領の教科の目標とのかかり		<ul style="list-style-type: none"> ・多数の作品で多様な表現方法が学べ、身近なものや職業との繋がりが写真等で示され、美術と生活のかかわりを通して美術を愛好する心情が育成できるよう工夫している。 ・作品とともに詩や作者の言葉、発想のヒント、道徳の学習等との関連をマークや言葉で補足し、美術の基礎的な能力や豊かな感性を伸長するための工夫がみられる。 ・日本と西洋、アジア諸国等さまざまな国や地域の作品を取り上げ、自国及び他国の文化の尊重や、郷土の美術文化を愛し、大切にすることを養えるよう配慮されている。
特色	特 内 容	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具の使い方や表現技法を写真や図版資料で提示し、各巻末に、基礎的な技法や資料をまとめ、「学習を支える資料」として参考にできるように構成されている。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒や作家の発想の仕方等を写真等で掲載するとともに、発想、構想のヒントをマークで示すことで、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。 <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材毎に目標チェック欄があり、学習の振り返りができることや、生徒の発達段階に合わせた問いかけを掲載することで、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がある。 <p>〈対象を見つめ感じ取る力や想像力を高める工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った作品や図版、活動例を掲載するとともに、「みんなの工夫」を示すことで、目的や意図を考えて発想や構想の能力を働かせる工夫をしている。 ・表現の題材に「発想・構想のヒント」をマークで示し、発想を広げたり構想を練ったりする際の参考となるよう工夫されている。 <p>〈創意工夫し美しく表現する技能を高める工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現方法が掲載され、主題や自分のイメージに合った表現方法を選択することができるよう配慮されている。「学習を支える資料」で、用具の使用法や表現技法が写真や図版で示され、表現意図に応じた表現方法を選択できるようになっている。 <p>〈よさや美しさなどを味わわせる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品とともに詩が取り上げられ、言語活動が意識されている。作品の時代背景や作品と関連する表現活動などの掲載や、作者の言葉がある。また、各題材には作品について考えるための問いかけがあるなど、作品を見ることを楽しみ、感じ取ったことを自由に話し合える工夫がなされている。
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別展示室」や「原寸大で鑑賞しよう」を設け、鑑賞活動が充実したものとなるよう工夫している。 ・各巻末の「学習を支える資料」には「トピックス美術史」と「美術史年表」が設けられ、美術文化に関する知識・理解が深まるよう配慮されている。

表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のねらい」や学習を深める内容などを、10のマークで分類して表示している。 ・目標の下に「共通事項」を意識した問いかけがある。 ・ページの横に、巻末の「学習を支える資料」との関連がマークで表示されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は美術1（1年）美術2・3（2、3年）の2冊となっている。 ・生徒の発達段階を踏まえ、3年間を見通した内容構成となっている。 ・題材は「表現」と「鑑賞」に分かれて編集され、関連する美術文化の図版等が取り入れられている。巻末資料にも社会や伝統、自然と関わる図版が掲載されている。 ・学習のポイントが10のマークを使用して示されている。

美術科調査の観点（日文・116）

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情が育つために、魅力ある題材の設定や作品が掲載されている。 ・文の内容が、共通事項の形・色・イメージの視点で組み立てられ、創造活動の中で生徒が意識することで、感性や美術の基礎的能力の伸長が図れる工夫されている。 ・昔から受け継がれてきた美術作品や、生活の中のさまざまな用具や造形などから、その国や時代の人々の美意識や創造性について理解できるように工夫している。
特色	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材における基礎的な技法や知識に関連した作品解説や図版、アイデアスケッチなどを掲載し、制作過程などを分かりやすくしている。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材で生徒や作家の言葉を掲載するとともに、何に注目して創造活動に生かすかという問いかけが提示され、生徒の思考・判断・表現力を育成する工夫をしている。 <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標を「学びのねらい」として明示し、学習の手立てとなる内容を「Point」のマークを用いて示すことで、生徒が主体的かつ効果的に学習に取り組めるように工夫している。 <p>〈対象を見つめ感じ取る力や想像力を高める工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチや作者の言葉、写真等から、生徒自らが感じ取ったことや考えたことを基に、表したい主題を生み出し表現できるよう工夫されている。 <p>〈創意工夫し美しく表現する技能を高める工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現方法を創意工夫できるように、制作プロセスを豊富に示し、参考にできる資料ページを巻末に設定している。用具の使用法や表現技法が写真や図版で説明され、表現意図に応じた表現方法を選択できるよう工夫されている。 <p>〈よさや美しさなどを味わわせる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図版の選択や大きさの工夫、紙質（和紙の活用）を変えた折り込みページや作者の言葉が掲載され、作者の制作意図が理解でき、作品のよさや美しさをよりよく鑑賞できる工夫がされている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・発想から形にするまでの制作プロセスを掲載している。 ・教科書美術館では見開き4ページを使用した作品や原寸大の作品を掲載している。 ・巻末に学習に役立つ資料として、材料や用具の扱い方、年表や世界遺産等を掲載している。

表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名の下に副題を示し、学びのねらいを観点別に載せている。学習の手立てをP o i n tマークで示している。生活と美術との関わりや作家の活動等、学習を深める内容や他教科と関連する部分を掲載している。 ・参照マークを用いて題材に関連した資料のページを示しており、必要に応じて参考とすることができる。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は美術1（1年生）美術2・3上、美術2・3下の3冊となっている。 ・生徒の発達段階に応じた多様な学びが選択できる構成になっている。また、絵画彫刻、デザイン・工芸の分野ごとに表現と鑑賞のページを独立して設定した構成となっている。生徒が自己の3年間の成長を見つめ実感できるよう自分・他者・社会・自然といった繋がりや広がりのある題材構成となっている。 ・生徒目線での発想の仕方と制作手順や技法を適宜示している。

美術科調査資料

○分量について

		開隆堂	日 文	光 村
1 総ページ数	1年	58	60	68
	2・3年上	108	58	106
	2・3年下		58	
2 絵や彫刻などに表現する活動のページ数	1年	20	23	23
	2・3年上	36	25	37
	2・3年下		23	
3 デザインや工芸などに表現する活動のページ数	1年	18	17	22
	2・3年上	36	13	33
	2・3年下		15	
4 鑑賞の内容のページ数	1年	12	13	20
	2・3年上	33	2	27
	2・3年下		8	
5 文化・歴史に関する内容のページ数	1年	8	2	3
	2・3年上	37	8	9
	2・3年下		2	

○領域別教材数等について

		開隆堂	日 文	光 村	
1 題材数	1年	21	19	27	
	2・3年上	31	17	38	
	2・3年下		17		
2 1題材の教材数	1年	30	8	36	
	2・3年上	90	9	55	
	2・3年下		8		
3 領域別教材数	① 絵画表現の内容	1年	8	3	10
		2・3年上	16	4	13
		2・3年下		5	
	② 彫刻表現の内容	1年	5	2	5
		2・3年上	9	2	8
		2・3年下		1	
	③ デザイン表現の内容	1年	9	3	6
		2・3年上	26	3	8
		2・3年下		2	
④ 工芸表現の内容	1年	3	2	6	
	2・3年上	9	2	7	
	2・3年下		2		
⑤ 鑑賞の内容	1年	5	5	9	
	2・3年上	30	3	19	
	2・3年下		5		

○分種別教材数について

		開隆堂	日 文	光 村
1 生徒の作品数	1年	123	108	88
	2・3年上	187	55	112
	2・3年下		54	
2 日本人の作家の作品数	1年	15	23	48
	2・3年上	101	64	118
	2・3年下		22	
3 外国人の作家の作品数	1年	11	17	16
	2・3年上	78	21	65
	2・3年下		17	
4 その他の作品数	1年	17		15
	2・3年上	61		75
	2・3年下			

○その他

		開隆堂	日 文	光 村
1 スケッチの作品数	1年	23	19	21
	2・3年上	29	6	35
	2・3年下		11	
2 共同で行う創造活動の題材数	1年	9	1	2
	2・3年上	10	2	4
	2・3年下		2	
3 資料の写真や図版などの数	1年	158	136	295
	2・3年上	185	101	348
	2・3年下		101	